

地域別アクションプログラム
(高島土木事務所)

第4回 地域ワーキング



令和4年12月14日(水)

高島土木事務所

説明内容

1. 地域ワーキングの趣旨と内容

(第4回地域ワーキングの内容、客観的評価マニュアルの概要)

2. 「地域の声」のとりまとめ結果

(「地域の声」とりまとめ結果、パンフレット掲載イメージ)

3. 「地域の重点項目」のとりまとめ結果

(「地域の重点項目」とりまとめ結果)

4. 客観的評価マニュアルによる事業の評価

5. 第4回地域ワーキングの論点

6. 今後の予定

1. 地域ワーキングの趣旨と内容

1.1 地域ワーキングの役割

地域
WG

地域における道路に関する意見徴収



地域の声として整理



地域の声のうち、
特に重要な内容を

地域の重点項目として設定

1.2 第4回地域ワーキングの内容

地域ワーキング(WG)	主なWGの内容
第1回地域WG 令和4年8月1日開催	各委員から管内道路の課題等に関する意見をいただく
第2回地域WG 令和4年9月16日開催	第1回WGで出た意見をもとに、「地域の声(案)」、客観的評価マニュアルの「地域の重点項目(案)」を作成・提示し、各委員から意見をいただく
第3回地域WG 令和4年11月1日開催	第2回WGで出た意見をもとに、「地域の声」や「地域の重点項目」を報告するとともに、地域の課題を解決する事業中箇所を紹介
今回 第4回地域WG 令和4年12月14日開催	アクションプログラム2023(案)の報告 (「地域の声」、「地域の重点項目」、事業評価結果、アクションプログラム掲載の代表事業)

※「地域の声」：地域ワーキングで伺った意見をもとにまとめる、地域課題やその課題を踏まえた今後の道路整備についての意見。

2. 「地域の声」のとりまとめ結果

2.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

委員のみなさまのご意見を踏まえたとりまとめ結果

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
2. 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築
3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保
4. 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

2.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム

高島地域は、北は北陸、福井嶺南地域、南は大津・**湖南地域**を経て**京阪神**と結ばれる交通の要衝です。

また、白鬚神社やメタセコイア並木道などの文化・自然資源も多く点在し、観光エリアとして賑わいを見せています。

近年では、「一般県道五番領安井川線」の新常安橋が開通（令和3年4月）したほか、今後も「国道161号小松拡幅」の大津市北小松地区が令和7年度に供用予定、また「国道161号安曇川立体」についても早期供用に向けて事業が進められているなど、道路を取り巻く環境にも変化がみられています。

しかし、**主要な幹線道路は国道161号に限られ、他の幹線道路も山間部などの狭隘な区間を通過している区間も多く、災害時に代替路線として機能する道路網が十分確保できていない状態です。**そのため、災害により通行規制が発生した場合、地域自体の孤立化や集落の孤立化が懸念されるなど、避難・支援・復旧ルートの確保が大きな課題の一つとなっています。

また、人口減少と高齢化が急速に進んでいる本地域においては、道路整備の推進により更なる観光・交流人口の拡大や若者の定住促進といった地域活性化の推進が必要です。さらに、高齢者や障害者、子ども、観光客に配慮した安心して移動できる歩行空間の確保、豪雪地帯であるという地域特性を踏まえた冬期の安全確保、適切で無駄のない計画的な道路の維持管理が必要です。

今回のアクションプログラムの見直しにあたり、令和4年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

2.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。具体的には、限られた路線に集中する交通の渋滞対策や、生活交通と通過交通の分離、福井方面との連携も見据えた交流ネットワークの構築など、より地域の魅力や活力を高めるまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

2.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

2. 大規模災害を考慮した 広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による避難・支援・復旧ルートの確保が急務となります。特に高島地域では、災害時の緊急輸送や救急搬送だけでなく日常交通や物流交通、観光交通についても国道161号への依存度が非常に高いため、当該道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時においても人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築できる災害に強い道路網の形成や整備が重要です。

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

2.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

誰もが安全に、安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者・通学児童や園児も含めた子ども・観光客に対する安全確保、冬期の積雪対策、除草なども含めた適切な維持管理といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

2.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

赤字：第3回WGにおける
指摘反映箇所

4. 住民が主体となった 行政と連携・協働による道づくり

今後の道づくりには、住民の主体的な取り組みや地域の意見を計画に反映させるとともに、道路整備に関する取り組みについて広くPRしていくことも重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政（県・市）、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化など、協力関係の構築が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。また、IoT※等の高度情報通信技術の普及も視野に入れた、新たな情報発信のあり方についても、今後取り組んでいくことが望まれます。

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

____：アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

※：IoT（アイオーティー）

“Internet of Things”の略称。「モノ」をインターネットに接続する技術のことであり、具体的にはスマートスピーカーやスマートホーム、自動運転車などが挙げられ、近年急速に実用化が進んでいる。

2.2 「地域の声」パンフレット掲載イメージ

地域別アクションプログラム 地域の声 高島 土木事務所

高島地域は、北は北陸、福井嶺南地域、南は大津・湖南地域を経て京阪神と結ばれる交通の要衝です。また、白鬚神社やメタセコイア並木道などの文化・自然資源も多く点在し、観光エリアとして賑わいを見せています。

近年では、「一般県道五番領安井川線」の新常安橋が開通(令和3年4月)したほか、今後も「国道161号小松松幅」の大津市北小松地区が令和7年度に供用予定、また「国道161号安曇川立体」についても早期供用に向けて事業が進められているなど、道路を取り巻く環境にも変化がみられています。

しかし、主要な幹線道路は国道161号に限られ、他の幹線道路も山間部などの狭隘な区間を通過している区間も多く、災害時に代替路線として機能する道路網が十分確保できていない状態です。そのため、災害により通行規制が発生した場合、地域自体の孤立化や集落の孤立化が懸念されるなど、避難・支援・復旧ルートの確保が大きな課題の一つとなっています。

また、人口減少と高齢化が急速に進んでいる本地域においては、道路整備の推進により更なる観光・交流人口の拡大や若者の定住促進といった地域活性化の推進が必要です。さらに、高齢者や障害者、子ども、観光客に配慮した安心して移動できる歩行空間の確保、豪雪地帯であるという地域特性を踏まえた冬期の安全確保、適切で無駄のない計画的な道路の維持管理が必要です。

今回のアクションプログラムの見直しにあたり、令和4年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

① 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。具体的には、限られた路線に集中する交通の渋滞対策や、生活交通と通過交通の分離、福井方面との連携も見据えた交流ネットワークの構築など、より地域の魅力や活力を高めるまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

② 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による避難・支援・復旧ルートの確保が急務となります。特に高島地域では、災害時の緊急輸送や救急搬送だけでなく日常生活や物流交通、観光交通についても国道161号への依存度が非常に高いため、当該道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時においても人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築できる災害に強い道路網の形成や整備が重要です。

③ 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

誰もが安全に、安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者・通学児童や園児も含めた子ども・観光客に対する安全確保、冬期の積雪対策、除草なども含めた適切な維持管理といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

④ 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

今後の道づくりには、住民の主体的な取り組みや地域の意見を計画に反映させるとともに、道路整備に関する取り組みについて広くPRしていくことも重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政(県・市)、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化など、協力関係の構築が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。また、IoT等の高度情報通信技術の普及も視野に入れた、新たな情報発信のあり方についても、今後取り組んでいくことが望まれます。

【地域別アクションプログラム(高島土木事務所)地域ワーキング】

3. 「地域の重点項目」のとりまとめ

3.1 「地域の重点項目」 とりまとめ結果

委員のみなさまのご意見を踏まえたとりまとめ結果

アクションプログラム2023

事業の別	「地域の重点項目」(案)	備考
拠点間 ネットワーク 整備事業	高島地域内外への移動を円滑化する道路網整備	<ul style="list-style-type: none"> ・大津方面や福井方面との連携強化に資する道路整備 ・地域内の幹線道路間を補完する道路整備
	緊急輸送道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の機能強化
	地域にとって唯一の道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・代替路のない路線における機能強化
拠点内 道路空間 整備事業	集落間連携を支援する道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・集落間の歩行空間の安全確保 ・中山間部における連携強化に資する道路整備

4. 客観的評価マニュアルによる 事業の評価

4.1 客観的評価マニュアルの概要

拠点間ネットワーク整備

(現道拡幅、バイパス整備、交通結節点整備、交差点改良事業を想定)

I.取組の柱の実現

II.その他評価項目

III.費用便益比

地域の重点項目
から設定

IV.地域特性

拠点内道路空間整備

(歩道整備、自転車道整備、道路空間再配分を想定)

I.取組の柱の実現

II.その他評価項目

地域の重点項目
から設定

III.地域特性

最大2点の加点

事業の
1次評価

ランク I
(6点以上)

ランク II
(6～3点)

ランク III
(3点未満)

地域特性に与えられた最大2点は、事業の1次評価結果に大きな影響を与える加点要素

ランクA【重点化事業】：原則、10箇年間に重点的に整備する事業

ランクB【推進検討事業】：事業の推進を検討する事業

ランクC【当面保留事業】：現計画のままでは10箇年間に事業化しない事業

4.2 客観的評価マニュアルの配点(拠点間事業)

評価項目	点数配分	路線①	路線②	路線③
		●●工区	△△工区	●工区
I. 取組みの柱の実現 1. つながる・ひろがる	9.000			
(1) 産業活動や地域交流を支える道路整備	3.000			
①新広域道路交通計画の位置付け	0.500	0.500		
②重要物流道路および代替・補完路の整備	0.500			
③緊急輸送道路の整備	0.667	0.500	0.500	
④大型車のすれ違い不能の解消が図れる整備	0.333			
⑤工区の起終点がともに改良済みの道路の整備	0.167			
⑥著しい渋滞を緩和できる整備	0.500			
⑦ピワイチおよびピワイチプラスに関連する整備	0.333			
(2) 拠点間のアクセス性を高める道路整備	3.000			
①鉄道や道路との立体交差化を図る整備	0.300	0.300		0.300
②生活拠点や主要施設へのアクセス道路の整備	0.600	0.600	0.600	
③防災拠点間を結ぶ道路整備	0.600	0.600		
④事故危険箇所における整備	1.500		1.500	
(3) 気候変動等へ適応した道路整備	3.000			
①地域にとって唯一の道路の整備	0.600			
②事前通行規制区間や防災総点検要対策箇所の改善が図れる整備	1.200	1.200		
③リダンダンシーを確保する道路整備	1.200			
II その他の評価項目	2.000			
①地域振興の計画に位置付け	0.250			
②高速道路や直轄国道整備に併せた整備	0.750	0.750		
③市町のまちづくり等と一体となった整備	0.750	0.750		
④環境負荷を低減する整備	0.250			
III 費用便益比	2.000			
①走行改善効果の点数化	2.000			
IV 地域特性	1.500			
①地域の重点項目1(高島地域内外への移動を円滑化する道路網整備)	0.500	0.500		0.500
②地域の重点項目2(緊急輸送道路の整備)	0.500	0.500	0.500	
③地域の重点項目3(地域にとって唯一の道路整備)	0.500			
合計	14.5	6.2	3.1	0.8
1次評価結果		ランク I	ランク II	ランク III

ランク	点数
I	6点以上
II	6点未満 3点以上
III	3点未満

地域の重点項目の
2項目に該当
1.0点の加点で
ランク I

地域の重点項目の
1項目に該当
0.5点の加点で
ランク II

4.3 客観的評価マニュアルの配点(拠点内事業)

評価項目	点数配分	路線① ●●工区	路線② △△工区	路線③ ●工区
I. 取組みの柱の実現 3. 快適でセーフティ				
(1) 人中心の空間創出	4.000			
①歩行者人数(歩道整備の場合)				
歩行者・自転車交通量 (自転車歩行者道整備の場合)	0.235	0.235	0.235	0.235
②自動車交通量	0.235	0.235	0.235	
③通学路等の整備	0.706	0.706		
④自転車走行空間の整備	0.471	0.471		
⑤人と車両との事故状況	0.706			
⑥歩道等の整備状況	0.235	0.235	0.235	0.235
⑦前後区間の歩道整備状況	0.235	0.235		
⑧事故危険箇所における整備	1.176			
(2) 街並みや沿道環境に調和した道路空間の整備	3.000			
①環境に配慮した整備	1.000	1.000		
②道路緑化を図る整備	1.000			
③観光資源などの有無	1.000	1.000	1.000	
(3) マイカーに頼りすぎないための道路整備	3.000			
①バス路線(コミュニティバス、スクールバス等も含む。)の整備	1.000	1.000	1.000	
②鉄道駅・主要な公共公益施設の有無	2.000			
(4) 誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備	2.000			
①高齢者や身体障害者等の移動の円滑化を図る歩道等の整備	2.000			
II その他の評価項目	1.000			
①歩行者利便増進道路制度の位置付け	0.333			
②快適でにぎわいのある道路空間の整備	0.333	0.333		
③市町のまちづくり等と一体となった整備	0.333	0.333		
III 地域特性	0.500			
④地域の重点項目4(集落間連携を支援する道路整備)	0.500	0.500	0.500	
合計	13.5	6.3	3.2	0.5
1次評価結果		ランク I	ランク II	ランク III

ランク	点数
I	6点以上
II	6点未満 3点以上
III	3点未満

地域の重点項目
に該当
0.5点の加点で
ランク I

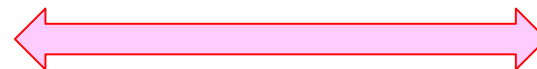
地域の重点項目
に該当
0.5点の加点で
ランク II

4.4 拠点間ネットワーク事業(案)の総合評価結果

パンフレット掲載予定路線の加点状況と総合評価結果

【拠点間ネットワーク整備事業】

地域の重点項目による加点状況



整理番号	路線名	工区名	取組の柱の実現			その他 地域振興 高速や直轄関連 代替性確保	費用便益 走行改善 効果	地域特性（地域の重点項目）			総合 評価	新規 掲載
			産業活動、 地域交流 を支援	拠点間の アクセス性 向上	気候変動等 への適応			高島地域内外の 移動を円滑化する 道路網整備	緊急輸送道路 の整備	地域にとって 唯一の 道路整備		
①	国道303号	追分	◎	○	○	○	◎	○	○	○	A	
②	国道303号	蘭生・北生見	◎	○	○	○	◎	○	○	○	A	
③	国道367号	桑野橋	◎	○	○	○	○	○	○	○	B	
④	国道367号	保坂	◎	○	○	○	○	○	○	○	B	
⑤	小浜朽木高島線	野尻	◎	○		○		○	○		B	
⑥	小浜朽木高島線	中野	◎	○				○	○		B	
⑦	小浜朽木高島線	庄堺	◎	◎			○	○	○		B	
⑧	小浜朽木高島線	三重生	◎	◎			○	○	○		B	
⑨	小荒路牧野沢線	沢	◎	◎		○		○			B	
⑩	麻生古屋梅ノ木線	朽木			◎	○		○		○	B	
⑪	小浜朽木高島線	朽木荒川	◎	○		○		○	○		B	○

◎：複数加点、○：加点有

◎：1以上
○：加点有

○：加点有

ランクA【重点化事業】：原則、10箇年間に重点的に整備する事業

ランクB【推進検討事業】：事業の推進を検討する事業

4.5 拠点間ネットワーク事業(案)の分布



— 拠点間ネットワーク事業

4.6 拠点間ネットワーク事業(案)の代表事業

(地域の重点項目)

1. 高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備

重点項目1
代表事業

国道303号(追分E工区)



現在の状況



【事業概要】

- 曲線の緩和および堆雪帯の設置
- 延長：4.1km中
3.0km改良済
残事業を継続予定

【事業の加点状況】

整理番号	路線名	工区名	取組の柱の実現			その他 地域振興 高速や直轄関連 代替性確保	費用便益 走行改善 効果	地域特性(地域の重点項目)			総合 評価	新規 掲載
			産業活動、 地域交流 を支援	拠点間の アクセス性 向上	気候変動等 への適応			高島地域内外の 移動を円滑化する 道路網整備	緊急輸送道路 の整備	地域にとって 唯一の 道路整備		
①	国道303号	追分	◎	○	○	○	◎	○	○	○	A	

4.7 拠点間ネットワーク事業(案)の代表事業

(地域の重点項目)

2. 緊急輸送道路の整備

重点項目2
代表事業

小浜朽木高島線 (朽木荒川)



現在の状況



【事業概要】

- 道路拡幅および堆雪帯の設置
- 延長：0.5km
当該区間前後改良済

【事業の加点状況】

整理番号	路線名	工区名	取組の柱の実現			その他	費用便益	地域特性 (地域の重点項目)		総合評価	新規掲載
			産業活動、地域交流を支援	拠点間のアクセス性向上	気候変動等への適応			地域振興 高速や直轄関連 代替性確保	高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備		
⑪	小浜朽木高島線	朽木荒川	◎	○		○	○	○		B	○

4.8 拠点間ネットワーク事業(案)の代表事業

(地域の重点項目)

3. 地域にとって唯一の道路整備

重点項目3
代表事業

麻生古屋梅ノ木線 地子原工区



現在の状況



【事業概要】

- 見通し確保のための現道拡幅事業
- 計画延長: 1.4km

【事業の加点状況】

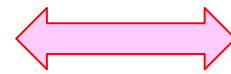
整理番号	路線名	工区名	取組の柱の実現			その他	費用便益	地域特性 (地域の重点項目)			総合評価	新規掲載
			産業活動、地域交流を支援	拠点間のアクセス性向上	気候変動等への適応			地域振興 高速や直轄関連 代替性確保	高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備	緊急輸送道路の整備		
⑩	麻生古屋梅ノ木線	朽木			◎	○		○		○	B	

4.9 拠点内道路空間整備事業(案)の総合評価結果

パンフレット掲載予定路線の加点状況と総合評価結果

【拠点内道路空間整備事業】

地域の重点項目による加点状況

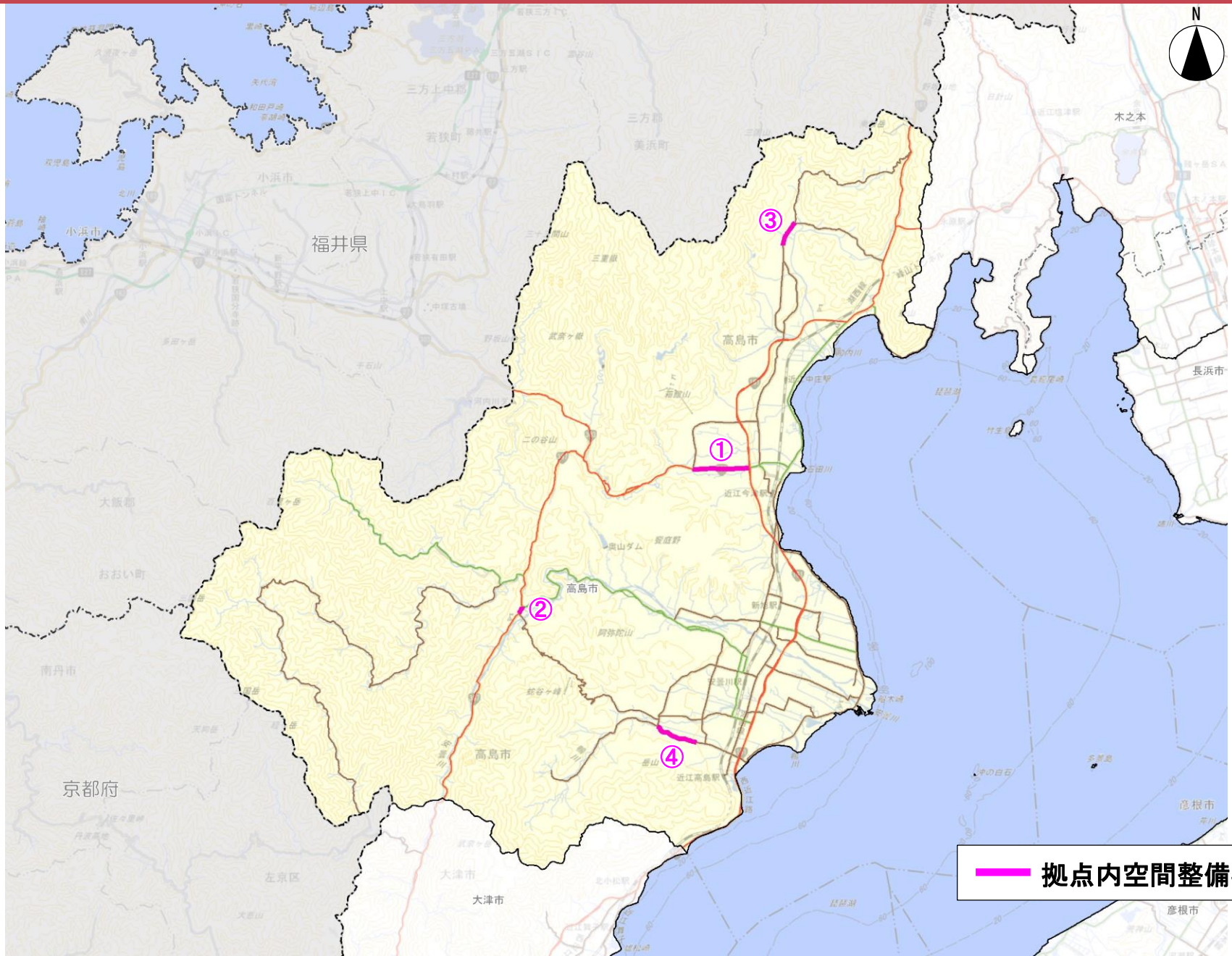


整理番号	路線名	工区名	取組の柱の実現				その他	地域特性 (地域の重点項目)	総合評価	新規掲載
			人中心の空間創出	街並みや沿道環境に調和した道路空間の整備	マイカーに頼りすぎないための道路整備	誰もが利用しやすい、人に優しい道路整備				
①	国道303号	弘川・蘭生	◎	○	○			○	B	
②	国道367号	市場	◎	◎	○			○	B	
③	小荒路牧野沢線	白谷	◎	◎	○			○	B	
④	畑勝野線	拝戸	◎	○	○			○	B	

◎：複数加点、○：加点あり

ランクA【重点化事業】：原則、10箇年間に重点的に整備する事業
ランクB【推進検討事業】：事業の推進を検討する事業

4.10 拠点間ネットワーク事業(案)の分布



— 拠点内空間整備事業

4.11 拠点内道路空間整備事業(案)の代表事業

(地域の重点項目)

重点項目4
代表事業

4. 集落間連携を支援する道路整備

小荒路牧野沢線 (白谷工区)



現在の状況



【事業概要】

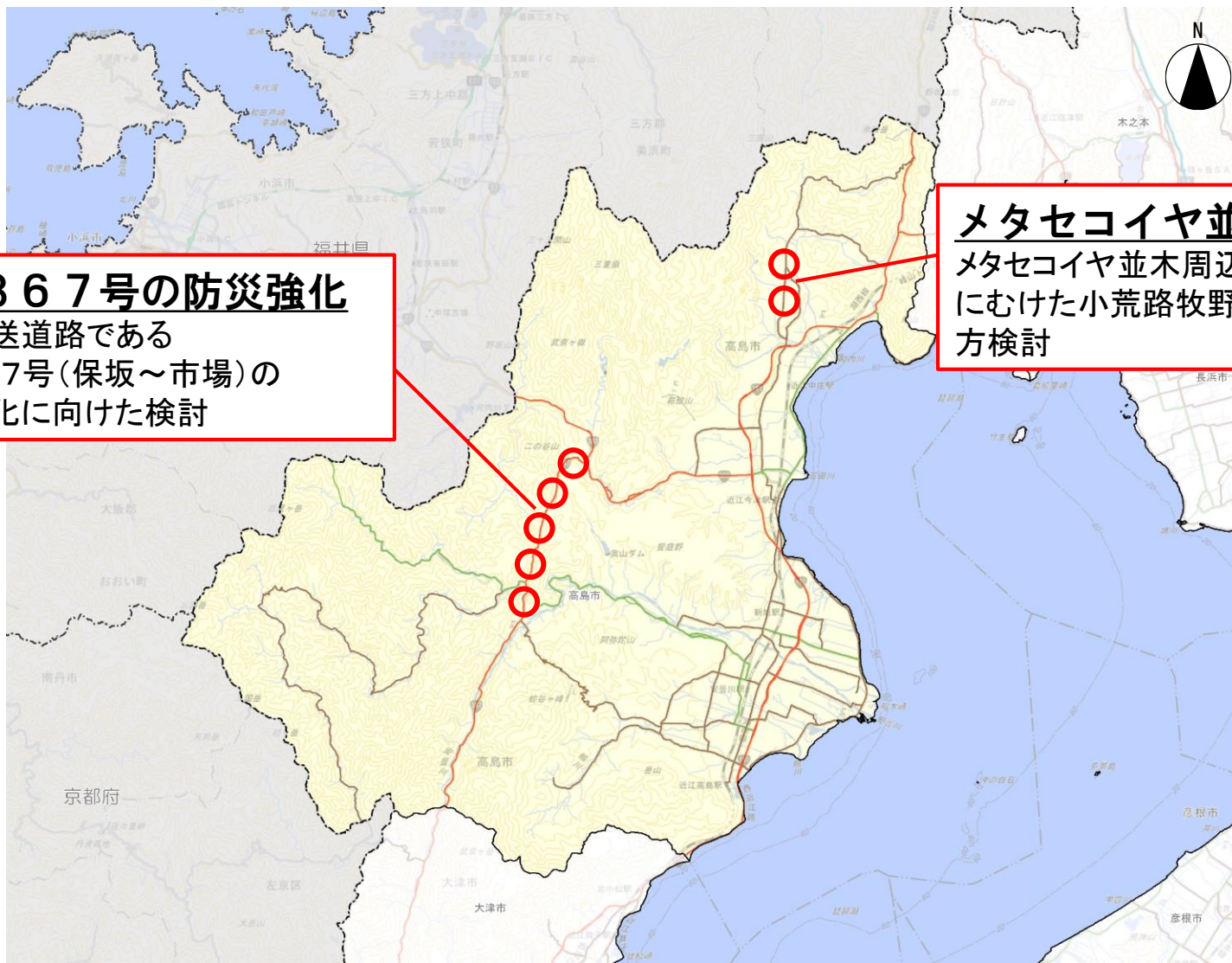
- 歩道整備
- 計画延長 : 1.1km

【事業の加点状況】

整理番号	路線名	工区名	取組の柱の実現				その他	地域特性 (地域の重点項目)	総合評価	新規掲載
			人中心の空間創出	街並みや沿道環境に調和した道路空間の整備	マイカーに頼りすぎないための道路整備	誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備		集落間連携を支援する道路整備		
③	小荒路牧野沢線	白谷	◎	◎	○		歩行者利便増進道路制度 快適・にぎわい 市町のまちづくり等と一体	○	B	

《参考》

○アクションプログラム掲載箇所とは別に、下記路線については、市町や関係機関とより一層連携を深め、本県のネットワーク整備の観点から必要性、ルートや構造等を継続的に検討・調査する。(パンフレットに掲載予定)



国道367号の防災強化

緊急輸送道路である
国道367号(保坂～市場)の
防災強化に向けた検討

メタセコイヤ並木道路

メタセコイヤ並木周辺の魅力向上
にむけた小荒路牧野沢線の在り
方検討

5. 第4回地域ワーキングの論点

○アクションプログラム2023 掲載予定事業への期待

6. 今後の予定

6.1 今後の予定

令和5年3月(県議会報告)

○アクションプログラム2023策定

○パンフレットの公表

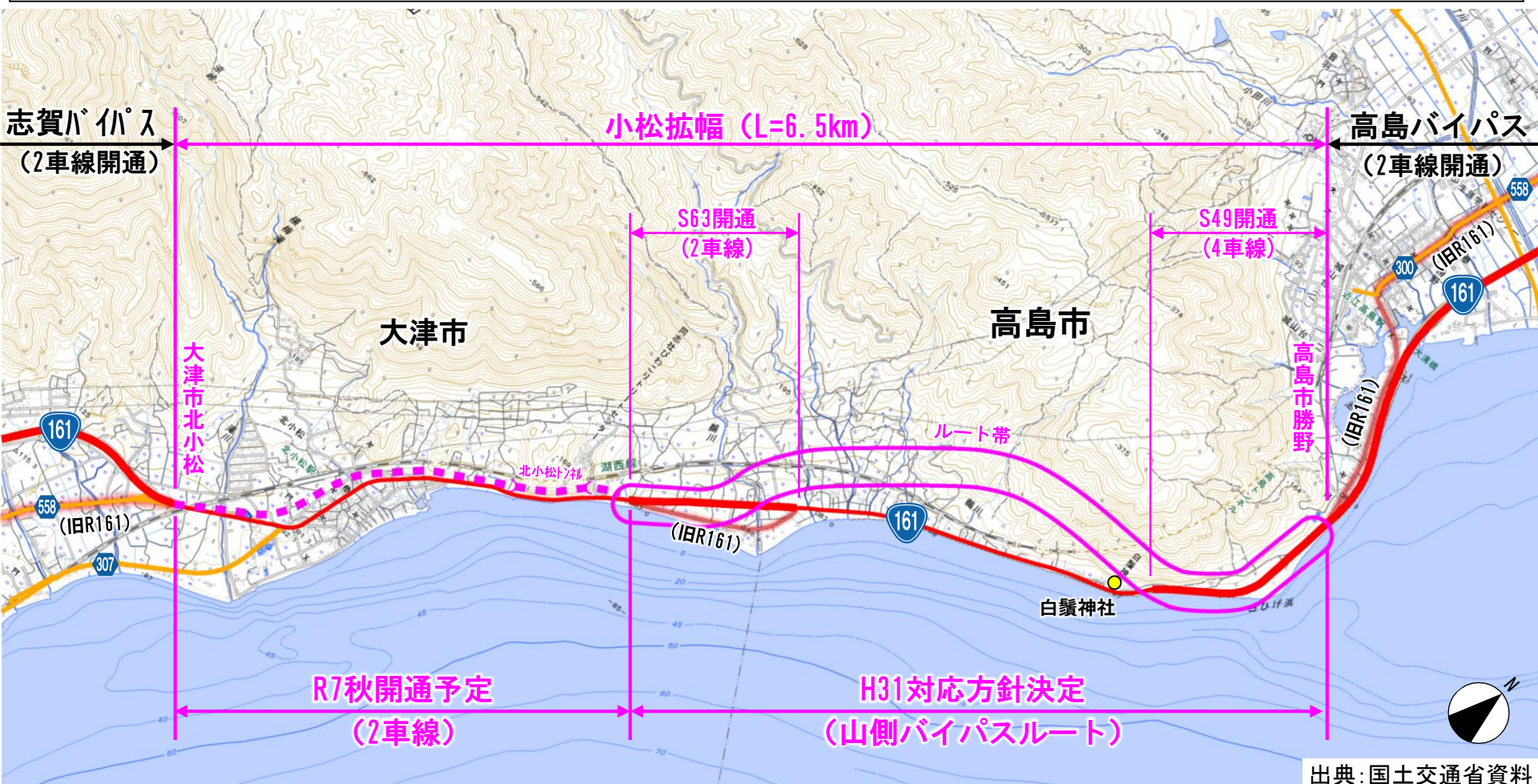
【参考】国道161号における事業実施状況①

- ・高島地域随一の幹線道路である国道161号でも事業が推進中。
- ・令和7年秋には「湖西道路」の真野～坂本北間が4車線化予定のほか、「小松拡幅」のうち大津市北小松地区が開通予定。
- ・そのほか、「湖北バイパス」や「安曇川立体」が事業中のほか、「小松拡幅」の北小松区間以北についても対応方針の決定により今後事業の推進が期待される。



【参考】国道161号における事業実施状況②

- ・「小松拡幅」区間は、大津～高島間で唯一のバイパス未整備区間。
- ・このうち大津市北小松地区においては、R7年秋にバイパス道路が開通予定。
- ・北小松区間以北の区間についても、H31年に「山側バイパスルート」が対応方針として決定されており、バイパス未整備区間の解消に向け大きく前進。



出典: 国土交通省資料